

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

報告事項件名	頁
1 足立保健所窓口アンケート調査（区民満足度）集計結果報告について・・・	2
2 「6歳児 フッ化物塗布事業」の開始について・・・	8
3 「足立区データヘルス計画」及び「足立区特定健康診査等実施計画」の改定について・・・	10
4 「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づく令和4年度事業実施結果（概要）及び令和5年度の主な取り組み等について・・・	15
5 新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況について・・・	22
6 足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況等について・・・	24
7 保健センターの管轄変更について・・・	27
8 令和4年度「動物愛護相談支援窓口」事業の実施結果及び「足立区地域猫活動協力員」の登録・更新状況について・・・	29

(衛 生 部)

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	足立保健所窓口アンケート調査（区民満足度）集計結果報告について												
所管部課名	衛生部衛生管理課												
内容	<p>足立保健所（（※）東部保健センターを除く4か所）窓口等運營業務に係る委託後の評価として、窓口アンケート調査を実施したので、その集計結果を報告する。</p> <p>※ 東部保健センターは平成27年から仮設（プレハブ）に一時移転中であり、委託事業者の執務室等が確保できないため委託していない。令和10年度以降に旧こども家庭支援センター等跡地に公共施設として再配置が計画されており、再配置後に業務委託できるよう関係部署と協議を進めている。</p> <p>1 足立保健所窓口等運營業務委託</p> <p>平成29年度より、足立保健所中央本町地域・保健総合支援課、竹の塚保健センター、江北保健センター及び千住保健センターにおいて（東部保健センターを除く）、窓口等運營業務を委託している。</p> <p>(1) 目的</p> <p>ア 区民サービスの質的向上及び区民満足度の向上</p> <p>イ 業務委託で削減した常勤職員定数の一部を新たな行政課題（あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）事業）（※）への人的資源投入（保健師5名）</p> <p>※ 妊娠期から産後期の母子保健事業を充実することにより、養育困難や生活困窮を未然に防ぎ、健やかな親子の成長を支える仕組みを「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）」と総称し、妊娠期から切れ目のない支援を推進している。</p> <p>(2) 対象事業</p> <p>母子保健事業、予防接種事業、畜犬登録、医療費助成、自立支援医療、自立支援給付、成人保健事業、その他電話等対応</p> <p>(3) 履行期間</p> <p>令和3年4月1日～令和8年3月31日（現在第二期目）</p> <p>2 アンケート実施概要</p> <p>窓口サービス満足度をはかるため、毎年1月～2月にかけて窓口を利用する区民へのアンケート及び窓口待ち時間、接客時間の調査を実施している。</p> <p>(1) 実施期間</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>令和5年1月</td> <td>4日～2月28日</td> <td>（38日間）</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>令和4年1月</td> <td>4日～2月28日</td> <td>（37日間）</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>平成29年1月</td> <td>23日～3月31日</td> <td>（49日間）</td> </tr> </table> <p>（委託前：区職員時実施分）</p>	令和4年度	令和5年1月	4日～2月28日	（38日間）	令和3年度	令和4年1月	4日～2月28日	（37日間）	平成28年度	平成29年1月	23日～3月31日	（49日間）
令和4年度	令和5年1月	4日～2月28日	（38日間）										
令和3年度	令和4年1月	4日～2月28日	（37日間）										
平成28年度	平成29年1月	23日～3月31日	（49日間）										

- (2) アンケート回答数
 令和 4 年度実施分 2, 308人
 令和 3 年度実施分 2, 160人
 平成28年度実施分 1, 100人
 (委託前:区職員時実施分)

3 アンケート項目

- (1) 性別
 (2) 年代
 (3) 職員の服装や態度
 (4) 話を丁寧に聞く姿勢
 (5) 説明は聞き取りやすい話のスピード (声の大きさ) か
 (6) 説明の分かりやすさ
 (7) 用件終了までの時間
 (8) 区民が期待する窓口案内

4 アンケート集計結果

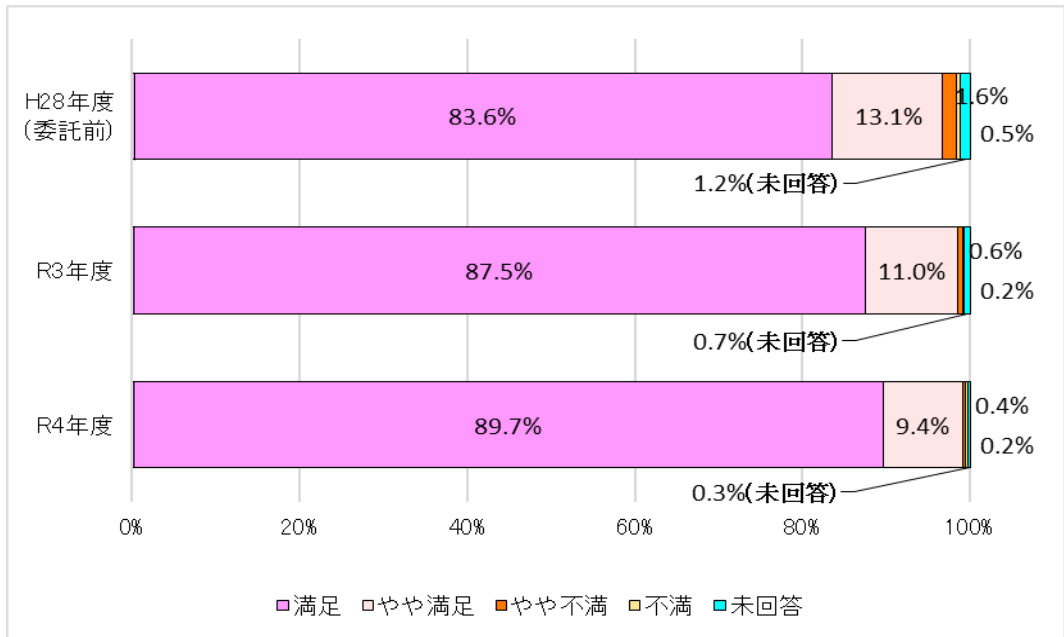
- (1) 性別内訳

	男性	女性	その他	未回答
H28 年度 (委託前)	29.7%	55.1%	—	15.2%
R3 年度	37.0%	62.3%	0.3%	0.4%
R4 年度	36.4%	62.7%	0.5%	0.4%

- (2) 年代内訳

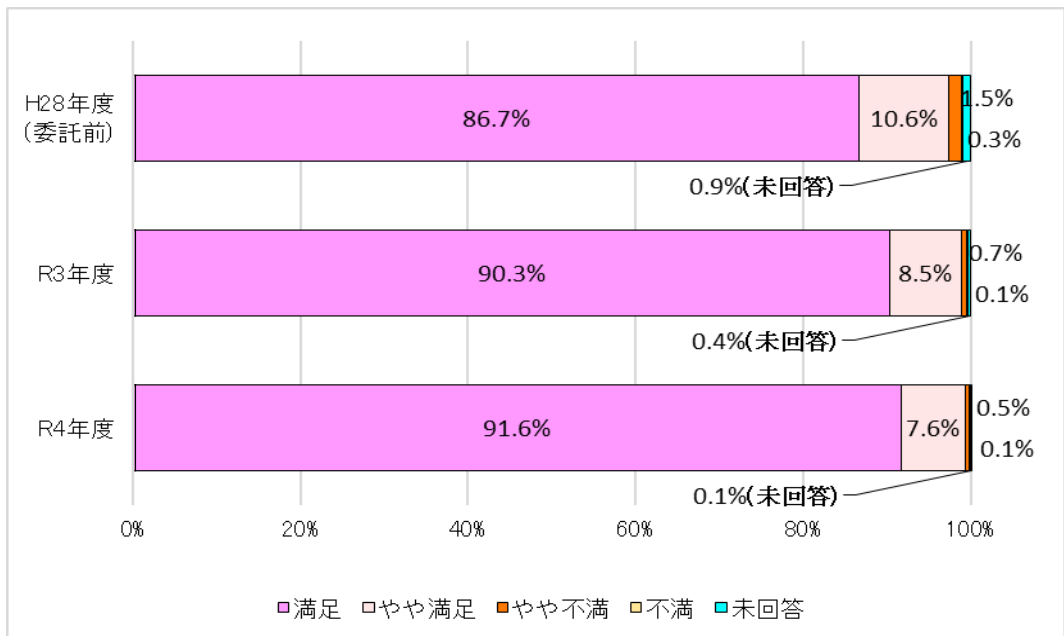
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	未回答
H28 年度 (委託前)	0.9%	8.9%	14.2%	29.8%	24.2%	13.0%	6.2%	3.0%
R3 年度	0.4%	10.1%	15.9%	26.3%	26.4%	12.4%	8.1%	0.4%
R4 年度	0.5%	11.7%	16.2%	23.2%	27.4%	12.5%	8.2%	0.3%

(3) 職員の服装や態度



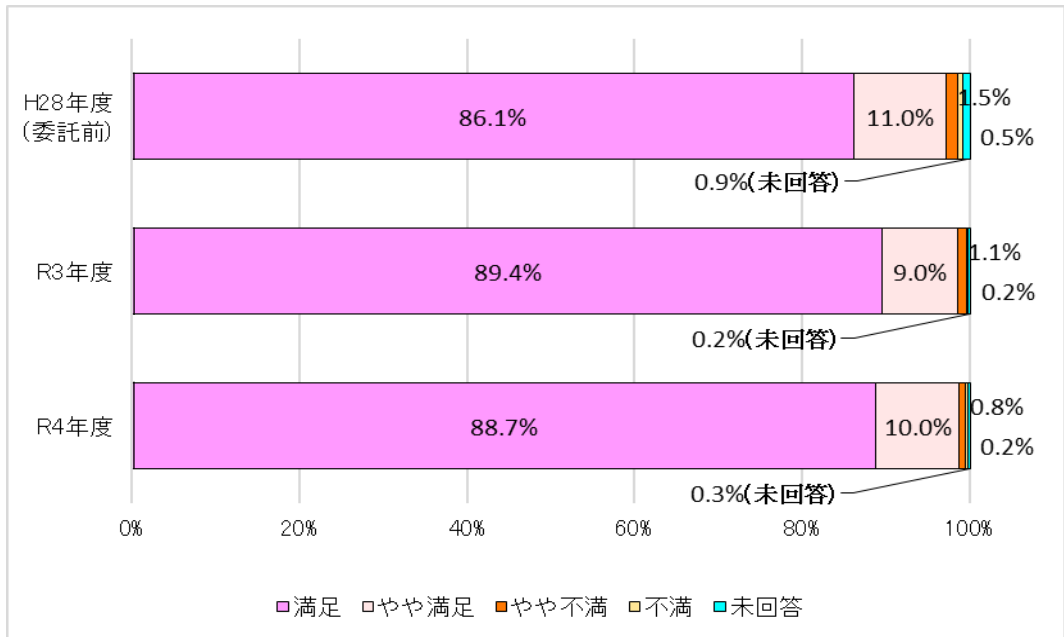
「満足」の割合は前年比 2.2 ポイント高く、「やや満足」と合わせた割合は 99.1%となり、昨年度 (98.5%) から 0.6 ポイント上がり、委託前 (96.7%) との比較では 2.4 ポイント高く、委託後の満足度は引き続き高い割合となっている。

(4) 話を丁寧に聞く姿勢



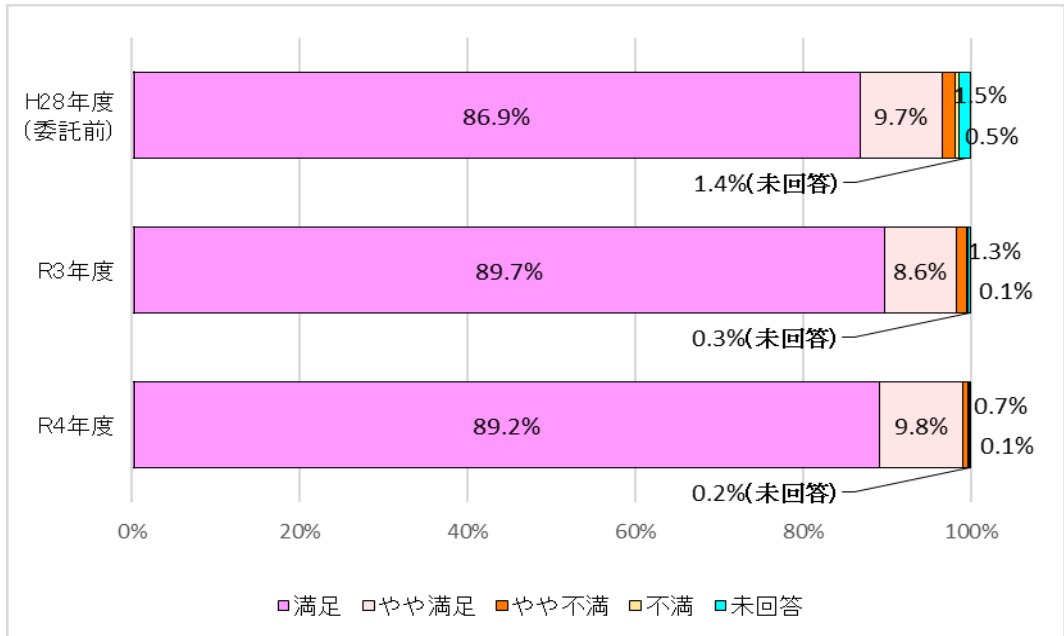
「満足」の割合は前年比 1.3 ポイント高く、「やや満足」と合わせた割合は 99.2%となり、昨年度 (98.8%) から 0.4 ポイント上がり、委託前 (97.3%) との比較では 1.9 ポイント高く、委託後の満足度は引き続き高い割合となっている。

(5) 説明は聞き取りやすい話のスピード（声の大きさ）か



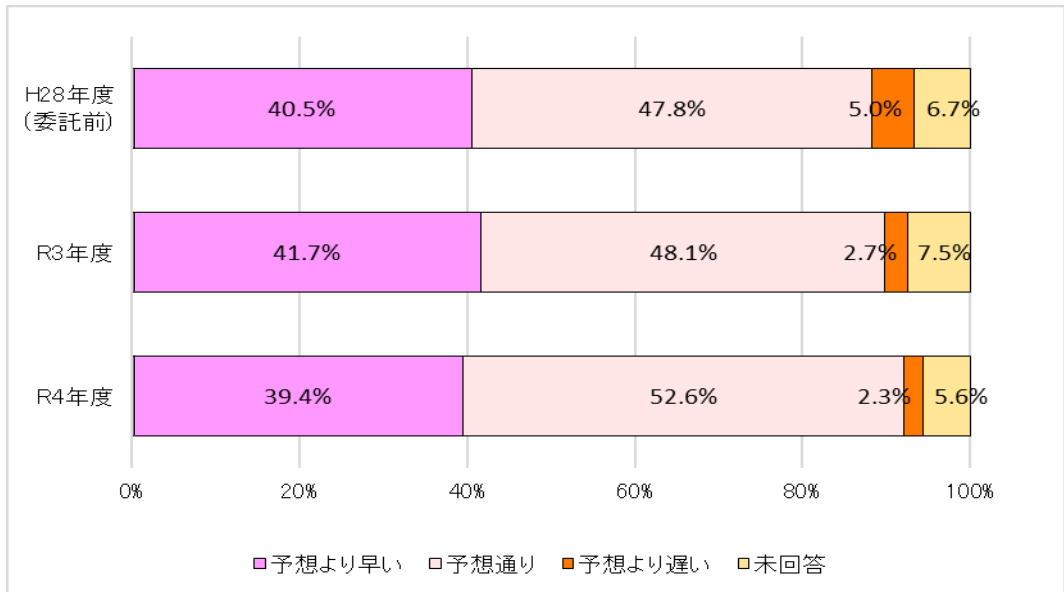
「満足」の割合は前年比 0.7 ポイント低かったが、「やや満足」と合わせた割合は 98.7%となり、昨年度（98.4%）から 0.3 ポイント上がり、委託前（97.1%）との比較では 1.6 ポイント高く、委託後の満足度は引き続き高い割合となっている。

(6) 説明の分かりやすさ



「満足」の割合は前年比 0.5 ポイント低かったが、「やや満足」も合わせた割合は 99.0%となり、昨年度（98.3%）から 0.7 ポイント上がり、委託前（96.6%）との比較では 2.4 ポイント高く、委託後の満足度は引き続き高い割合となっている。

(7) 用件終了までの時間



「予想より早い」「予想通り」を合わせた割合は92.0%で、昨年度(89.8%)から2.2ポイント上がり、委託前(88.3%)との比較では3.7ポイント高く、委託後の満足度は引き続き高い割合となっている。

(8) 区民が期待する窓口案内

項目	H28年度 (委託前)	R3年度	R4年度	H28年度とR4年度の比較	R3年度とR4年度の比較
1 分かりやすい説明	26.5%	27.4%	28.3%	↗	↗
2 速やかな対応・ご用件がすむまでの時間	18.3%	18.9%	19.2%	↗	↗
3 親身になってご用件を聞く姿勢	15.3%	13.2%	12.9%	—	—
4 丁寧な言葉づかいや笑顔でのあいさつ	11.7%	11.6%	11.5%	—	—
5 聞き取りやすい話のスピードや声の大きさ	7.3%	9.7%	9.9%	↗	↗
6 好感のもてる服装・態度	8.4%	7.7%	7.5%	—	—
7 大切なことを繰り返して説明	6.3%	6.9%	6.7%	↗	—
8 ご用件に適した温かみのある声や表情	5.0%	4.4%	4.0%	—	—
9 ご用件が済んだあとのお見送りのあいさつ	0.4%	0.2%	0.1%	—	—
10 その他	0.9%	0.0%	0.0%	—	—

平成28年度(委託前)、令和3年度と比較して区民が期待する「分かりやすい説明」、「速やかな対応・ご用件がすむまでの時間」などの窓口案内の項目については、従事者の接遇や業務スキル等の教育をより徹底するよう受託事業者と協議を行っていく。

5 来客時間調査（委託している4センター集計）

	最大来客者数 (1日あたり)	平均来客者数 (1日あたり)	平均接客時間 (1人あたり)	最大待ち時間 (1人あたり)	平均待ち時間 (1人あたり)
H28年度 (委託前)	54人	18.5人	16分27秒	30分	8秒
R3年度	85人	44.5人	20分20秒	20分	37秒
R4年度	96人	48.8人	21分4秒	30分	54秒

最大来客者数については、窓口における対応件数が昨年度比113.9%(6,654件→7,579件)となっていることから増加しているが、平均接客時間に大きな変動はなく、平均待ち時間についても1分未満であり、速やかな対応となっている。

6 主なご意見

- (1) いろいろな自治体にお世話になったことがあるが、足立区の保健センターの窓口では、受付してもらおうと待っていると、挨拶とともに直ぐに声をかけてもらえ、親切で丁寧な対応をしてもらえて素晴らしい。
- (2) 数年お世話になっていますが、窓口対応については、以前よりも説明の分かりやすさ、速さ、居心地の良さなど、非常に良くなっていると感じている。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策として、こまめに消毒をされていて安心できた。
- (4) 時間のかからない用件は別窓口を設けてもらいたい。
- (5) いつもは丁寧な対応ですが、忙しそうな時は説明が早口で分かりにくい時がある。
- (6) 新型コロナウイルス感染症予防でパーテーションが設置されており、声が聞き取りにくいことがある。

7 問題点・今後の方針

- (1) アンケートの結果を踏まえ、受託者と協議を重ね、要望の多かった「分かりやすい説明」、「速やかな対応・ご用件がすむまでの時間」などについては業務の改善につなげる。
- (2) アンケートの集計結果については、例年10月～11月に実施している受託者の業務履行状況等の評価を行う「足立保健所窓口等運営業務委託評価委員会」の資料とする。
- (3) 今後も同様の時期にアンケートを実施し、業務水準維持を図っていく。

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	「6歳児 フッ化物塗布事業」の開始について								
所管部課名	衛生部データヘルス推進課								
内容	<p>6歳頃生える永久歯で、最も噛む力が強い奥歯である6歳臼歯は、溝が深くむし歯になりやすいため、新たに「フッ化物塗布事業」を開始し、むし歯予防を推進する。</p> <p>※ フッ化物は、歯質の強化等、特に生えはじめのむし歯予防に効果があり、年に数回、歯科医院で塗布することが推奨されている。家庭でフッ化物配合の歯磨剤を組み合わせると、さらに効果的である。</p> <p>1 概要</p> <p>(1) これまでの経緯</p> <p>平成29年度～令和元年度、区内小学校9校で「小学1、2年生対象永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)」を実施し、定期的にフッ化物塗布を受けた6歳臼歯はむし歯り患率が低いという結果が得られた。</p> <p>一方、学校での実施は、時程の確保や準備にかかる学校の負担、参加希望の保護者が8割程度等、全校展開には課題があることから、歯科医療機関で塗布を受けられる方法を検討していくこととした。</p> <p>(2) 事業目的</p> <p>6歳(年長児)を対象に、指定歯科医療機関で「フッ化物塗布」が受けられる無料塗布券を配付し、健全な6歳臼歯の育成ならびに歯科医院での定期管理の推進を図る。</p> <p>(3) 対象者</p> <p>住民登録のある6歳(年度末年齢)の区民 平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ 令和5年度対象者 約4,800名</p> <p>2 実施方法及びスケジュール</p> <p>(1) 実施方法</p> <p>区が東京都足立区歯科医師会に事業委託し、対象者は、指定の歯科医療機関で1回塗布を受けることができる。約170歯科医療機関で実施予定。</p> <p>(2) スケジュール(予定)</p> <table border="0"> <tr> <td>5月下旬～6月下旬</td> <td>歯科医師会会員向け説明会を実施 説明会后、指定歯科医療機関として登録</td> </tr> <tr> <td>5月～7月下旬</td> <td>区保健衛生システム改修及び帳票等作成</td> </tr> <tr> <td>8月上旬</td> <td>対象者抽出</td> </tr> <tr> <td>8月下旬</td> <td>塗布券一式個別発送</td> </tr> </table>	5月下旬～6月下旬	歯科医師会会員向け説明会を実施 説明会后、指定歯科医療機関として登録	5月～7月下旬	区保健衛生システム改修及び帳票等作成	8月上旬	対象者抽出	8月下旬	塗布券一式個別発送
5月下旬～6月下旬	歯科医師会会員向け説明会を実施 説明会后、指定歯科医療機関として登録								
5月～7月下旬	区保健衛生システム改修及び帳票等作成								
8月上旬	対象者抽出								
8月下旬	塗布券一式個別発送								

	<p>8月下旬</p> <p>受診券が届き次第、塗布開始 受診期限 令和6年3月30日(土)</p> <p>3 今後の方針</p> <p>足立区歯科医師会と連携し、問診、塗布状況、むし歯り患率等のデータを収集し、分析・評価していく。</p>
--	---

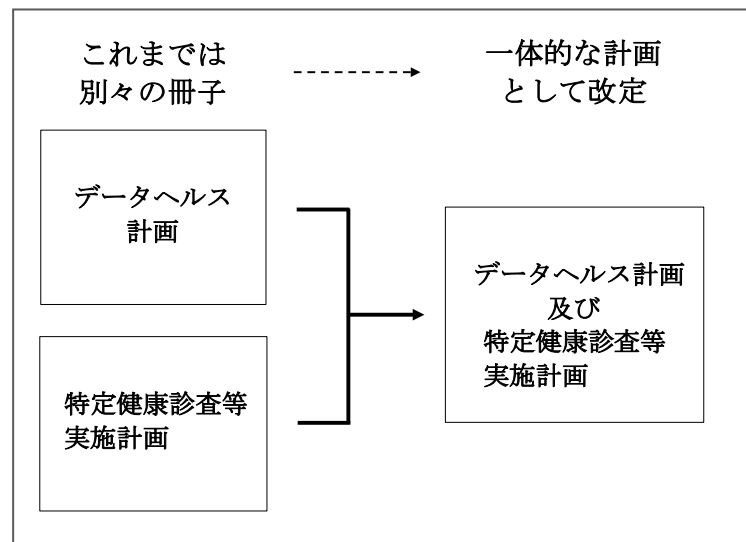
厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	「足立区データヘルス計画」及び「足立区特定健康診査等実施計画」の改定について
所管部課名	衛生部データヘルス推進課
内容	<p>「足立区データヘルス計画」及び「足立区特定健康診査等実施計画」の計画期間終了に伴い、計画を改定する。については、改定内容やスケジュール等について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 計画の概要</p> <p>(1) データヘルス計画</p> <p>「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、すべての健康保険組合に対して策定を求められている計画。</p> <p>レセプト(診療報酬明細書)や健診結果等のデータ分析に基づき、被保険者の健康管理や疾病予防等の取り組みを定め、PDCAサイクルに沿った事業運営を行う。</p> <p>(2) 特定健康診査等実施計画</p> <p>高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、すべての保険者が定めるものとされている計画。</p> <p>被保険者に対して実施する特定健康診査(※)等の具体的な実施方法や、その成果に対する目標等を定める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>高齢者の医療の確保に関する法律第19条第1項</p> <p>保険者(国民健康保険法の定めるところにより都道府県が当該都道府県内の市町村とともに行う国民健康保険(以下「国民健康保険」という。)にあっては、市町村。以下この節並びに第二百五条の三第一項及び第四項において同じ。)は、特定健康診査等基本指針に即して、六年ごとに、六年を一期として、特定健康診査等の実施に関する計画(以下「特定健康診査等実施計画」という。)を定めるものとする。</p> </div> <p>※ メタボリックシンドロームや糖尿病、高血圧などの生活習慣病を早期に発見し、予防することを目的とした健康診査。</p> <p>(3) 改定の方法</p> <p>上記(1)(2)は、これまで別々の冊子で作成していたが、いずれの計画も、足立区国民健康保険の保険者として、被保険者の健康の保持増進と医療費の適正化を目的として定めることとされているため、</p>

一体的な計画として改定する。

また、厚生労働省から示される「作成の手引き」や「作成様式」に基づき改定する。



(4) 計画の期間

令和6年度から令和11年度の6年間

2 改定スケジュール（予定）

令和5年 9月 計画素案の作成

11月 パブリックコメント実施

12月 パブリックコメント結果反映

令和6年 3月 計画の決定

3 今後の方針

- (1) 足立区国民健康保険被保険者の現状（別添資料1）等について、レセプト（診療報酬明細書）や健診結果等のデータをもとに、課題や要因等を分析し、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けた方策を策定する。
- (2) 同時期に策定する「健康あだち21行動計画」との整合を図りながら改定する。
- (3) 東京都や東京都国民健康保険団体連合会と連携を図りながら改定作業を進めていく。
- (4) 健康課題を区内保健センター等の関係部署と共有し、エビデンスに基づく地域の健康づくり活動を促進する。

足立区国民健康保険被保険者の現状

足立区国民健康保険加入者は、令和3年度末で143,196人であり、足立区人口の20.78%となる。
(出典：あだちの国保 令和3年度実績)

1 足立区国民健康保険被保険者の医療費

足立区国民健康保険被保険者の総医療費の多くを占める疾患は、「慢性腎臓病」「糖尿病」「関節疾患」と続いている。

令和3年度 医療費（入院＋外来）割合（％） ※全体の医療費（入院＋外来）を100％として計算

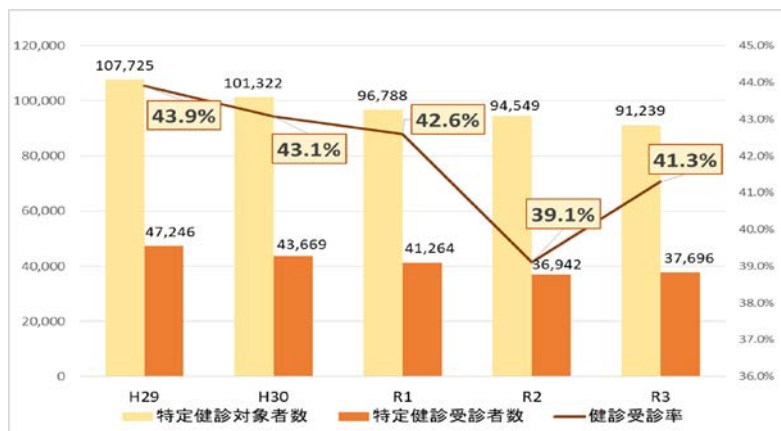
	疾患名	医療費割合（％）	医療費（円）
1	慢性腎臓病（透析あり）	6.0	2,888,458,990
2	糖尿病	5.2	2,511,666,820
3	関節疾患	3.5	1,668,111,580
4	高血圧症	3.1	1,471,261,440
5	統合失調症	2.6	1,256,382,790
総医療費			47,881,314,690

(出典：足立区特定健康診査結果データ)

2 特定健康診査受診率

特定健康診査とは、足立区国民健康保険加入者の40～74歳が受診する健診である。
受診率は40％台で推移しており、令和3年度は特別区23区中12位であった。

特定健康診査受診率の推移



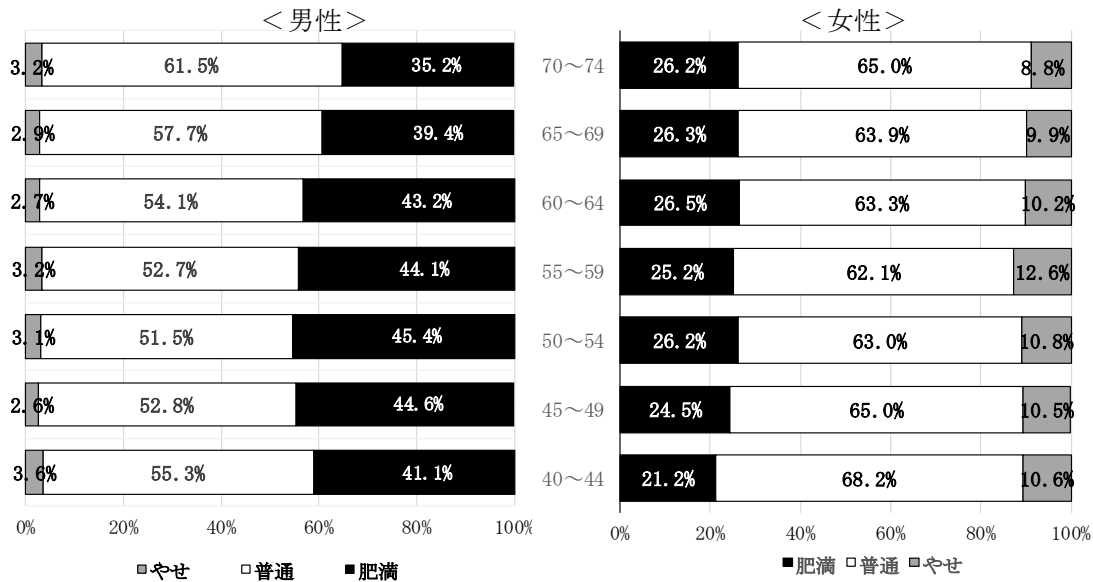
(出典：足立区特定健康診査結果データ)

3 BMIの割合

令和3年度特定健康診査の結果をみると、男性は40歳代前半～60歳前半は肥満が約40%以上いる。一方、女性はやせが全年齢で、10%程度いる。

令和3年度 特定健康診査のBMIの割合

※肥満：25以上、普通：18.5～24.9、やせ：18.4以下

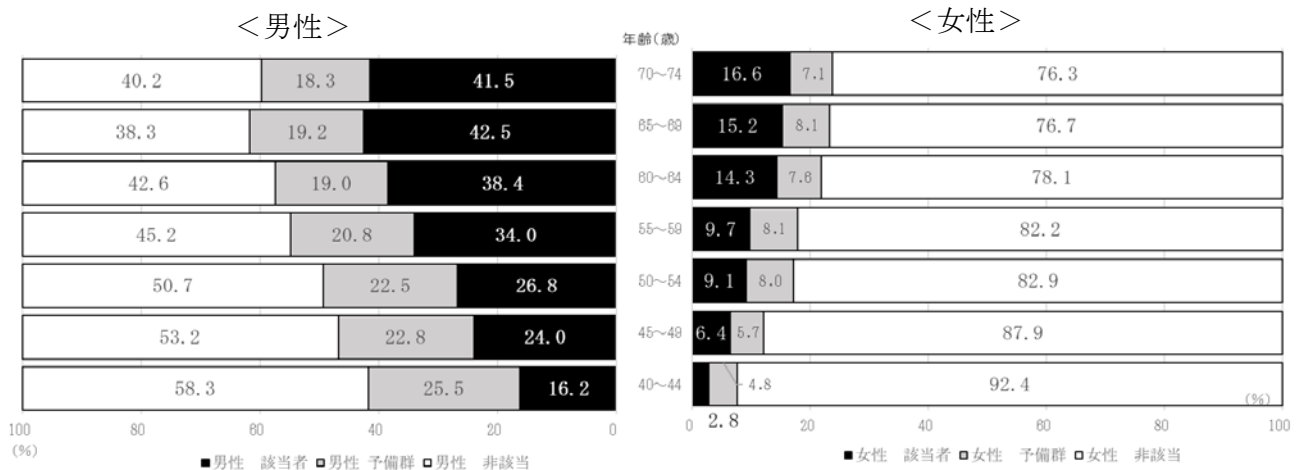


(出典：足立区特定健康診査結果データ)

4 メタボリックシンドローム等の割合

メタボリックシンドローム該当者・予備群割合は、男性の40歳前半で約40%おり、60歳代後半まで増加している。

令和3年度 特定健康診査のメタボリックシンドローム該当者・予備群*割合



(出典：足立区特定健康診査結果データ)

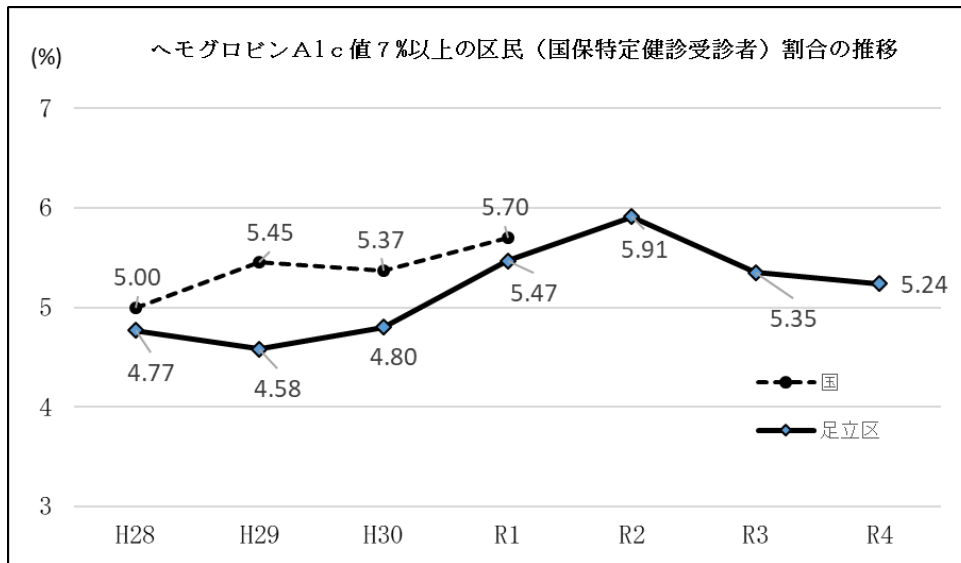
*メタボリックシンドロームの基準

腹囲が男性85cm以上・女性90cm以上でかつ、血圧・血糖・脂質の3つのうち、2つ以上が基準値以上だと「メタボリックシンドローム該当」、1つだと「メタボリックシンドローム予備群」と判断する。

5 ヘモグロビンA1cの推移（特定健康診査の結果より）

特定健康診査の結果、糖尿病の「要医療」と判定されたヘモグロビンA1c 7%以上の方の割合は、令和2年度に増加したが、令和3年度、令和4年度は減少している。

ヘモグロビンA1c値7%以上の割合推移



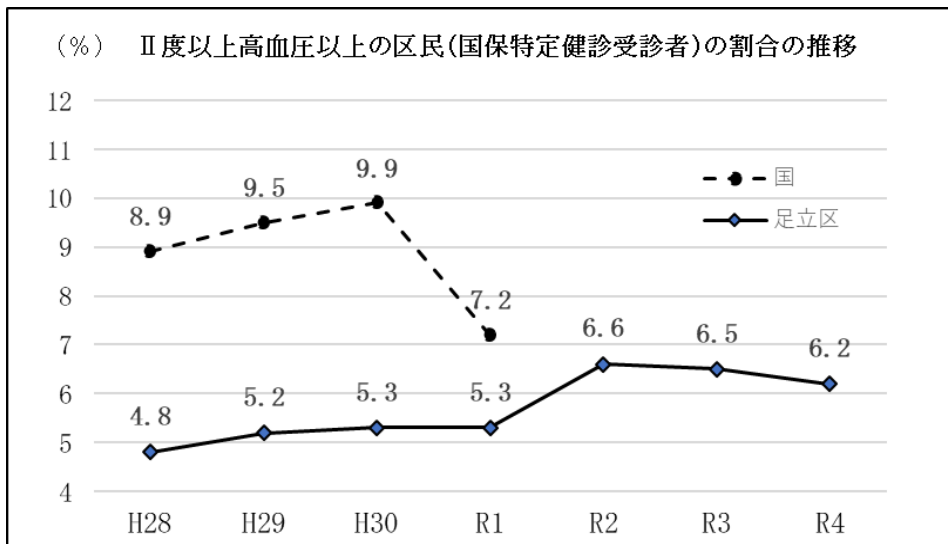
(出典:足立区特定健康診査結果データ、国民健康・栄養調査)

6 高血圧の推移（特定健康診査の結果より）

特定健康診査の結果、血圧の「要医療」と判定されたⅡ度以上高血圧の方の割合は、令和2年度に増加したが、令和3年度、令和4年度は減少している。

*Ⅱ度以上高血圧：収縮期血圧 160mmHg 以上または拡張期血圧 100mmHg

Ⅱ度以上高血圧の割合推移



(出典:足立区特定健康診査結果データ、国民健康・栄養調査)

以上

厚生委員会報告資料

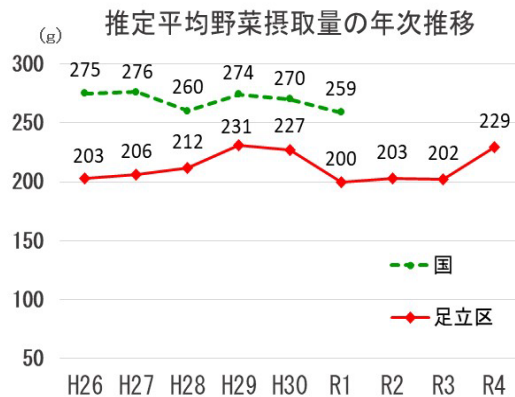
令和5年6月29日

件名	「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づく令和4年度事業実施結果（概要）及び令和5年度の主な取り組み等について																						
所管部課名	衛生部こころとからだの健康づくり課 データヘルス推進課																						
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン」3つの基本方針に基づき、令和4年度に行った主な事業の実施結果（概要）及び令和5年度の主な取り組み等について報告する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>足立区糖尿病対策アクションプラン</p> <p>平成25年度に策定した健康あだち21（第二次）行動計画では、区民の健康状態の中で顕著な課題である糖尿病対策に重点を置き、「糖尿病対策アクションプラン」を策定して具体的な事業を実施している。「おいしい給食・食育対策編」「歯科口腔保健対策編」とともに多層的な施策を展開することにより「住んでいるだけで自ずと健康になれるまち」を目指す。</p> <p>3つの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 野菜が食べやすい環境づくり (2) 子ども・家庭の良い生活習慣の定着 (3) 糖尿病重症化予防 </div> <p>1 令和4年度事業実施結果（概要）</p> <p>(1) 野菜を食べやすい環境づくり</p> <p>ア あだちベジタベライフ協力店</p> <p>(ア) ベジ・ファーストメニューや野菜たっぷりメニュー等を提供する店舗数…827店舗（令和5年3月末時点）</p> <p>(イ) 朝から野菜が食べられる「ベジタベモーニングメニュー」の登録店舗数…11店舗（令和5年3月末時点）</p> <div style="text-align: center;"> <p>ベジタベライフ協力店 店舗数の推移</p> <table border="1"> <caption>ベジタベライフ協力店 店舗数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>店舗数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>82</td></tr> <tr><td>H26</td><td>630</td></tr> <tr><td>H27</td><td>624</td></tr> <tr><td>H28</td><td>607</td></tr> <tr><td>H29</td><td>592</td></tr> <tr><td>H30</td><td>728</td></tr> <tr><td>R1</td><td>815</td></tr> <tr><td>R2</td><td>910</td></tr> <tr><td>R3</td><td>875</td></tr> <tr><td>R4</td><td>827</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	店舗数	H25	82	H26	630	H27	624	H28	607	H29	592	H30	728	R1	815	R2	910	R3	875	R4	827
年度	店舗数																						
H25	82																						
H26	630																						
H27	624																						
H28	607																						
H29	592																						
H30	728																						
R1	815																						
R2	910																						
R3	875																						
R4	827																						

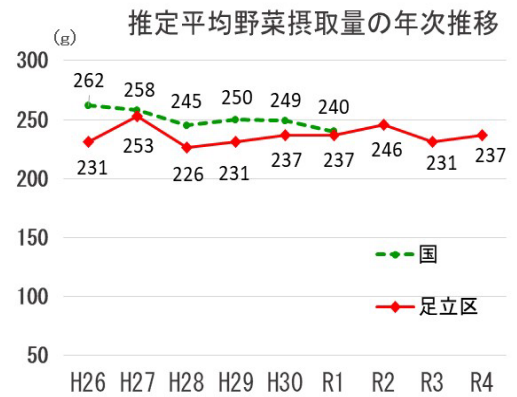
イ 区民の野菜摂取

(ア) 区が11月に実施した「簡易型自記式食事歴法質問票 (BDHQ) による食習慣調査」によると、推定野菜摂取量は 233 gであった (国の推奨は 350 g)。平成26年度から横ばいが続いているが、昨年度と比較すると野菜摂取量は男性が27g、女性が6g増加しており、女性は全国とほぼ同程度となっている。

【男性】



【女性】



※令和2・3年度は、国民健康栄養調査は未実施

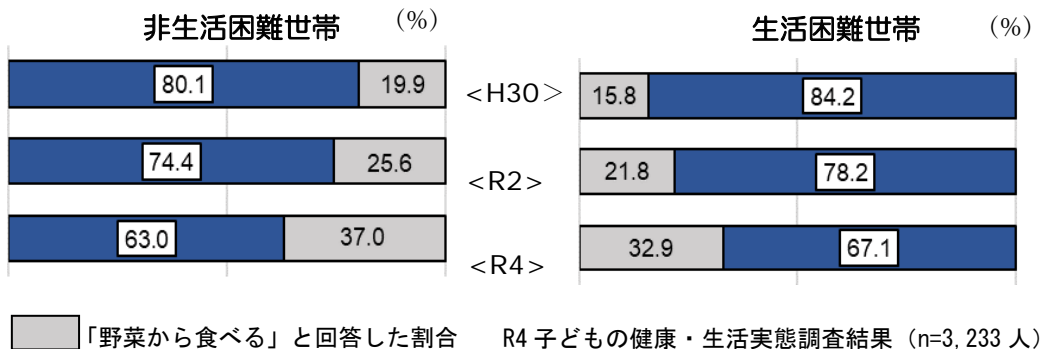
(2) 子ども・家庭の良い生活習慣の定着

ア 幼稚園・保育園、小学校等における取り組み

コロナ禍以降、生活リズムが乱れがちとなっているため、家庭で取り組める「おうちでもひと口目は野菜からチャレンジシート」を幼稚園、保育園、小学校等で実施【295か所】

※ 中学校2年生を対象に行った子どもの健康・生活実態調査では、「野菜から食べる」と回答した割合は、非生活困難世帯・生活困難世帯ともに年々増加している。

野菜から食べる習慣の年次推移(中学校2年生)※同じ集団を経年比較



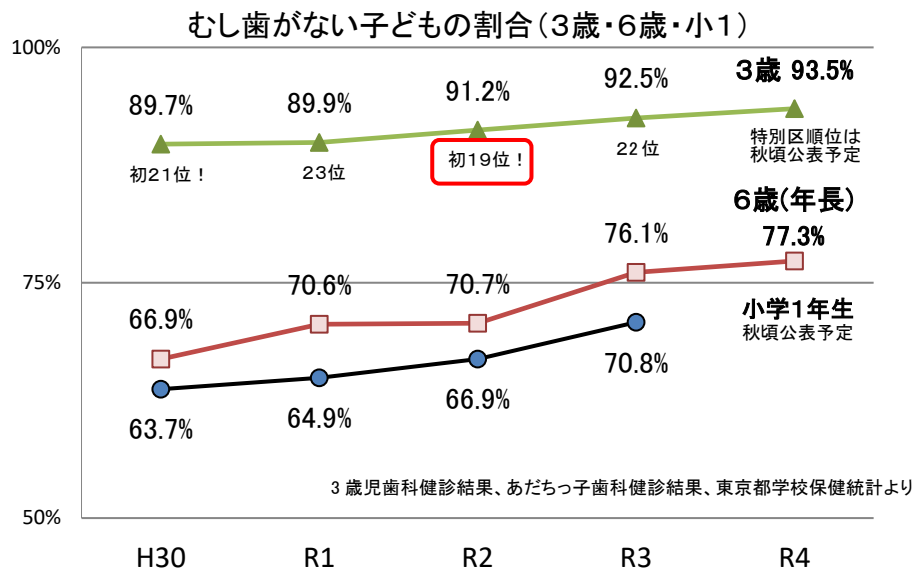
イ 幼稚園や学童保育室等における取り組み

野菜クイズ動画を活用した啓発や、感染対策を講じ幼稚園や学童保育室等出張栄養教室を実施した。【46回、3,139人】

ウ 子どもの歯・口腔の健康の取り組み

(ア) むし歯がない子どもの割合（3歳児・年長児・小学1年生）

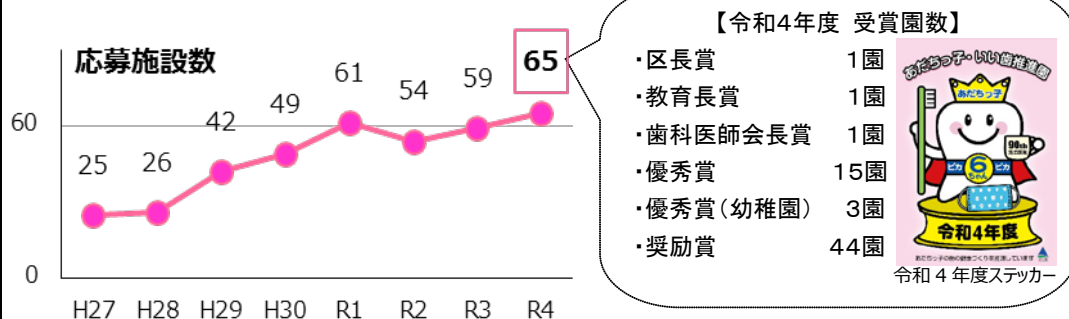
むし歯がない子どもの割合は、3歳児が1.0ポイント、6歳（年長児）1.2ポイント、前年度より増加している。



※ R2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、あだちっ子歯科健診、定期学校健康診断は、例年より約5か月遅れて秋に実施した。

(イ) 「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施

歯みがきや仕上げみがき、歯によいおやつ習慣づくり等に積極的に取り組む保育施設や幼稚園を表彰し、リーフレットやホームページ等で広く区民に紹介



(3) 糖尿病重症化予防

ア 40歳前の健康づくり健診

健診機会の少ない18歳から39歳の区民に対し、検診機会を提供するため、各保健センターにて実施している。

ヘモグロビンA1c値^{*}5.6%以上の方388人全員に対して、栄養指導・保健指導を実施。さらに2か月後に、受診状況や生活改善状況を確認するフォローを電話等で実施。

※ 概ね過去2か月の血糖値を反映。7.0%以上で合併症のリスクが高まる。

40歳前の健康づくり健診 糖尿病予防に関する事後指導の実施数

年度	健診受診者(人) a	ヘモグロビンA1c値5.6%以上の人数 b (b/a%)	2か月後フォロー数(人)			
			栄養指導(5.6~6.4%対象)実施数 c (c/a%)	保健指導(6.5%以上対象)実施数 d (d/a%)	栄養指導実施数 e (e/c%)	保健指導実施数 f (f/d%)
R3	955	187 (19.6%)	182 (19.1%)	5 (0.5%)	178 (97.8%)	5 (100%)
R4	1,290	388 (30.1%)	376 (29.1%)	12 (0.9%)	290 (77.1%)	11 (91.7%)

令5年4月末時点

イ 医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり

協力医療機関数 374 機関 (内科 131、眼科 33、歯科 197、薬局 13)

ウ 薬剤師会による糖尿病重症化予防フォロー事業の実施

区内 13 薬局で実施。令和4年度は 109 人の区民が測定。受診勧奨対象者(ヘモグロビンA1c値6.5%以上)16人のうち受診確認:4人。

エ 各種イベントや乳幼児健診等でのヘモグロビンA1c値測定

新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントでは実施できず乳幼児健診の保護者696人に実施。乳幼児健診では保護者に対しヘモグロビンA1c値測定の代わりに短時間で行える血糖検査を1,251件実施。

オ 糖尿病・成人眼科健診（※ 令和元年度より名称変更）

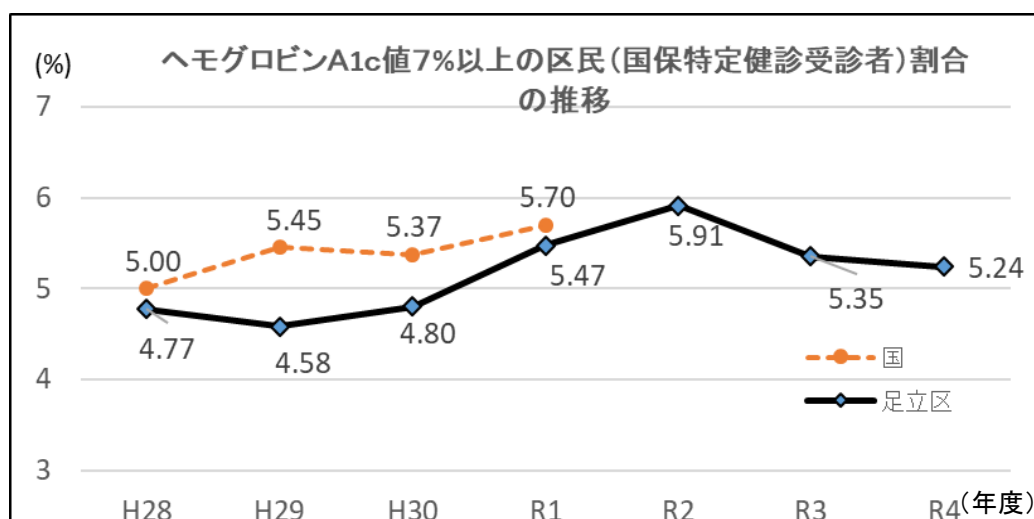
糖尿病による動脈硬化や網膜症等を早期発見し、進行を予防するとともに内科に繋げることを目的に対象者へ受診券を送付。

受診率は前年度より 1.2 ポイント減少。

年度	対象者数	受診者数	受診率
R3	18,548 人	3,218 人	17.3%
R4	19,551 人	3,145 人	16.1%

カ ヘモグロビンA1c 値 7%以上の区民（足立区国保 40～74 歳の特定健診受診者のうちヘモグロビンA1c 値 7%以上の者）の割合

ヘモグロビンA1c 値 7%以上の区民の割合は、全体で 0.11 ポイント減少し過去 6 年間で一番低い。性別年代別では 60 歳代女性と 70 歳代男性以外は前年度より減少した。



キ 令和 2 年の健康寿命※を算定

男性 78.4 歳、女性 83.0 歳となり、平成 22 年からは男女ともに約 2 歳延伸し、平成 27 年からは男性 0.9 歳、女性 0.7 歳の延伸となった。

※ 日常生活動作が自立している期間の平均(厚生労働科学研究の健康寿命算定プログラムから足立区で算定)。

健康寿命	男性			女性		
	足立区	東京都	全国	足立区	東京都	全国
H22年	76.4	78.3	78.1	81.0	83.0	83.2
H27年	77.5	79.0	79.3	82.3	83.5	83.8
R2年	78.4	80.2	81.5	83.0	84.6	84.5

(歳)

2 令和5年度の主な取り組み

(1) 健康あだち21(第二次)行動計画及び糖尿病対策アクションプランの改定

いずれも現在の計画期間が令和5年度までとなっており、令和6年度開始に向け改定を行う。

健康寿命は延びているが都や国と比較すると未だ短いため、引き続き糖尿病対策に重点を置き、健康寿命の延伸を目指す。また、産業保健分野の取り組みの充実を検討し、働き世代の健康づくりを推進することにより、「住んでいるだけで自ずと健康になるまち」を目指す。

(2) 働き世代に対するアプローチ

令和4年度末で「元気な職場づくり応援事業」(健康経営)の支援事業所5所の支援が終了し、新たに5事業所の支援を開始した。令和5年度中に、さら新規支援事業所数を拡大していく。【目標：令和5年度中に新規5事業所の支援を開始】

(3) 「気づき」から健康行動につなげるための動機づけを強化

食育月間や糖尿病月間、健康経営を通じて、積極的に働き世代が集まる場に出向き、推定野菜摂取量測定器を活用し、糖尿病リスクの啓発を行っていく。【目標：測定実施 2,700人】

(4) ベジタベライフ協力店の新規開拓と質の向上

店舗数減に歯止めをかけるため、新規開拓に力を入れるとともに、既登録店舗の掲示物等のメンテナンスを行っていく。【目標：新規登録100店舗、メンテナンス190店舗】

(5) 重症化予防部会を再開

糖尿病治療に関わる医療関係団体(医師会・歯科医師会・薬剤師会)の代表と糖尿病対策の課題や情報を共有し、協力を依頼。

新型コロナウイルス感染症の流行により令和2年度以降休止していた重症化予防部会を7月以降に再開し、引き続き三師会との連携を進める。

(6) 6歳児 フッ化物塗布事業を新規開始

6歳児を対象に「フッ化物塗布事業」を開始し、6歳臼歯（最初に生える永久歯の奥歯）の健全な育成を目指す。P 8 報告資料を参照。

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況について
所管部課名	衛生部新型コロナウイルスワクチン接種担当課
内容	<p>1 令和5年春開始接種について</p> <p>新型コロナウイルスワクチンのオミクロン株対応ワクチンを使用した追加接種として、令和4年秋開始接種に続き、令和5年春開始接種を実施している。</p> <p>(1) 概要</p> <p>ア 実施期間 令和5年5月8日（月）から令和5年8月31日（木）</p> <p>イ 接種対象者 初回接種（1・2回目）を完了した以下の方</p> <p>(ア) 65歳以上の高齢者</p> <p>(イ) 5歳以上65歳未満の方のうち、次の要件に該当する方</p> <p>① 基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方</p> <p>② 医療機関、高齢者施設、障がい者施設等の従事者</p> <p>ウ 接種間隔 最終接種日から3か月以上</p> <p>エ 使用するワクチン オミクロン株対応2価ワクチン</p> <p>※ オミクロン株対応2価ワクチンとは、メッセンジャーRNAワクチンの一つで、従来株（新型コロナウイルス発生時の株のこと）に由来する成分と、オミクロン株に由来する成分の2種類（2価）を含むワクチンのこと。</p> <p>オ 接種体制</p> <p>(ア) 個別接種 5月8日から区内医療機関（足立区医師会館休日応急診療所含む）で実施</p> <p>接種実施医療機関数：約200機関 週あたりの接種規模：約15,000回 使用ワクチン：ファイザー社製オミクロン株対応2価ワクチン</p> <p>(イ) 集団接種（足立区役所庁舎ホール） 6月3日から6月30日まで実施（毎週月曜日～土曜日） 予約枠：800枠／日（金曜日のみ1,000枠） 使用ワクチン：モデルナ社製オミクロン株対応2価ワクチン</p>

(2) 接種券の発送状況など

令和5年春開始接種用の接種券（ネズミ色）を発送

ア 65歳以上の高齢者

発送日	発送数
4月24日	156,440件
5月22日	2,370件
6月26日	887件

イ 基礎疾患を有する方や医療従事者等

4月24日から随時発送

累計発送数 8,162件（令和5年6月21日現在）

※ 接種券の発行には申請が必要

※ 4月3日から申請の受付を開始

(3) 接種状況（令和5年6月21日現在）

65歳以上人口	接種者数	接種率
169,475人	70,298人	41.5%

2 令和4年度モデルナ社製ワクチンの有効期限到来に伴う廃棄について

有効期限が到来したモデルナ社製ワクチンについて、以下のとおり廃棄を行った。

(1) 廃棄数

ア 1価（起源株）ワクチン

（1バイアルあたり10回又は15回分換算）

4,795バイアル（71,420回分）

イ 2価（起源株／オミクロン株）ワクチン

（1バイアルあたり5回分換算）

17バイアル（85回分）

3 今後の方針について

(1) 令和5年春開始接種が円滑に実施されるよう進行管理を行う。

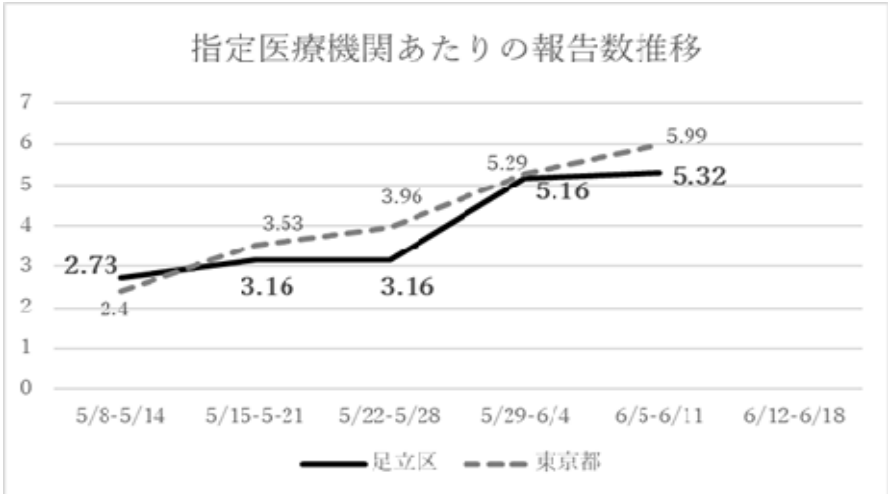
(2) 9月から令和5年秋開始接種を実施する方針が国から示されている。

現時点で、初回接種が完了した5歳以上のすべての方を対象とし、現在の流行主流株であるオミクロン株XBB.1系統の成分を含有する1価のワクチンの使用を基本とする予定である。

今後も国の動向を注視し、足立区医師会と連携して適切な体制で接種を開始できるよう準備を進める。進捗状況については、随時情報提供していく。

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況等について																											
所管部課名	衛生部足立保健所感染症対策課																											
内容	<p>新型コロナウイルス感染症の区内発生状況、および令和5年5月8日に感染症法上の位置づけが5類（季節性インフルエンザと同等）に移行したことに伴う対応について、下記のとおり報告する。</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症発生状況について</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、医師が診断した全ての患者を保健所に報告する必要がある疾患（全数報告）から、全体の流行状況を把握するため、都が指定した医療機関のみが診断した患者数等を報告する疾患（定点報告）に変更となった。</p> <p>流行状況については、都がとりまとめ、毎週木曜日に公表される。</p> <p>(1) 区内発生状況について（週次）</p> <p>区内指定19医療機関からの報告数は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="371 1144 1434 1384"> <thead> <tr> <th rowspan="2">期間</th> <th colspan="3">足立区</th> <th colspan="3">東京都</th> </tr> <tr> <th>報告数</th> <th>指定医療機関数</th> <th>指定医療機関あたりの報告数</th> <th>報告数</th> <th>指定医療機関数</th> <th>指定医療機関あたりの報告数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月5日(月)～6月11日(日)</td> <td>101</td> <td>19</td> <td>5.32</td> <td>2,486</td> <td>415</td> <td>5.99</td> </tr> <tr> <td>参考(前週)</td> <td>98</td> <td>19</td> <td>5.16</td> <td>2,207</td> <td>417</td> <td>5.29</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 第8波ピーク時（令和4年12月19日から25日）の同医療機関からの報告数439件と比較して、4分の1程度の発生状況</p> 	期間	足立区			東京都			報告数	指定医療機関数	指定医療機関あたりの報告数	報告数	指定医療機関数	指定医療機関あたりの報告数	6月5日(月)～6月11日(日)	101	19	5.32	2,486	415	5.99	参考(前週)	98	19	5.16	2,207	417	5.29
期間	足立区			東京都																								
	報告数	指定医療機関数	指定医療機関あたりの報告数	報告数	指定医療機関数	指定医療機関あたりの報告数																						
6月5日(月)～6月11日(日)	101	19	5.32	2,486	415	5.99																						
参考(前週)	98	19	5.16	2,207	417	5.29																						

(2) 区内年齢別内訳（6月5日～6月11日）

国内の感染状況が落ち着き、人の動きが活発となっていることから、比較的活動量が多い世代の患者が多い。

～5か月	～1歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
1	2	2	0	0	0	2	0	4	3

9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
2	10	11	21	9	12	7	8	6	1

(3) 今後の方針

流行状況の迅速な把握に努め、必要に応じ医師会や医療機関との情報共有を図る。また、高齢者施設等での集団感染発生時の調査、指導等を適切に実施し、感染拡大防止、再発防止に努めていく。

2 抗原検査キット購入費用補助事業の実施状況について

新型コロナウイルス感染症5類移行に向け、国は抗原検査キットを準備し、感染したと感じた場合には、抗原検査キットを用いてチェックするように呼びかけていることから、重症化リスクのある高齢者が体調が気になる場合に自身で検査した上で医療機関に受診できるように、65歳以上の高齢者が抗原検査キットを1人1回2個まで1個500円で購入できるよう費用補助を令和5年5月8日から開始した。

(1) 対象

65歳以上の区民

(2) 事業実施期間

令和5年5月8日（月）から9月30日（土）

(3) 購入可能な区内薬局（足立区薬剤師会加入協力薬局）

77薬局（令和5年6月15日現在）

(4) 販売実績

1, 313個（令和5年5月8日から6月11日）

(5) 今後の方針

今後も販売薬局の拡大を薬剤師会に働きかけるとともに、ホームページやあだち広報等で周知に努めていく。

3 5類移行に伴う区民等への支援策の段階的な移行について

(1) 当面の間、継続する支援策（予定）

ア 足立区発熱電話相談センター

- | | |
|--|---|
| | <p>(2) 区独自事業で、令和5年6月30日で終了する支援策</p> <ul style="list-style-type: none">ア 足立区医師会館におけるPCR検査体制支援（土曜、休止中）イ 疑い患者用病床確保支援（区内二次救急15病院） <p>(3) 区独自事業で、当面継続する支援策（予定）</p> <ul style="list-style-type: none">ア 休日応急診療所におけるPCR検査体制支援（日曜、祝日） <p>(4) 国や都の方針で、令和5年9月30日で終了する支援策（予定）</p> <ul style="list-style-type: none">ア 民間救急による患者移送（対象者は透析患者、妊婦等）イ 入院調整（対象者は透析患者、妊婦等）ウ 公費支援（コロナ治療薬、入院費用の一部を公費支援） <p>10月以降は救急車による患者搬送や医療機関間による入院調整、健康保険による通常診療等、他の疾病と同様の体制に移行する。</p> <p>(5) 今後の方針</p> <p>区医師会と継続的に協議を行い、円滑な移行に努める。</p> |
|--|---|

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	保健センターの管轄変更について												
所管部課名	衛生部足立保健所中央本町地域・保健総合支援課、竹の塚保健センター、江北保健センター、衛生部衛生管理課												
内容	<p>竹の塚保健センター管轄区域内の人口割合の適正化を図るため、令和6年度秋頃を予定している「すこやかプラザ あだち」の開設にあわせて、保健センターの管轄区域を変更する。</p> <p>1 管轄区域を変更する理由</p> <p>竹の塚保健センターは、区内人口の約30%が所管区域となっており、人口割合が他4センターより高い。乳幼児健診等が長時間化していることなどを解消し、区民サービスを向上させるため変更する。</p> <p>2 管轄区域変更</p> <table border="1" data-bbox="427 1010 1433 1319"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入谷1～9丁目</td> <td>竹の塚保健センター</td> <td>江北保健センター</td> </tr> <tr> <td>舎人1～6丁目</td> <td>竹の塚保健センター</td> <td>江北保健センター</td> </tr> <tr> <td>島根1～4丁目</td> <td>竹の塚保健センター</td> <td>中央本町地域・保健総合支援課</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="379 1435 890 2069"> <p>変更前</p> </div> <div data-bbox="906 1368 1433 2069"> <p>変更後</p> <p>入谷1～9丁目、舎人1～6丁目を江北保健センターに編入</p> <p>島根1～4丁目を中央本町地域・保健総合支援課に編入</p> </div> </div>	地区	変更前	変更後	入谷1～9丁目	竹の塚保健センター	江北保健センター	舎人1～6丁目	竹の塚保健センター	江北保健センター	島根1～4丁目	竹の塚保健センター	中央本町地域・保健総合支援課
地区	変更前	変更後											
入谷1～9丁目	竹の塚保健センター	江北保健センター											
舎人1～6丁目	竹の塚保健センター	江北保健センター											
島根1～4丁目	竹の塚保健センター	中央本町地域・保健総合支援課											

3 管轄区域変更による効果

令和5年5月1日現在

保健センター	変更前		変更後	
	人口	人口割合	人口	人口割合
中央本町地域・保健総合支援課	133,184人	19.3%	145,820人	21.1%
竹の塚保健センター	209,164人	30.2%	168,700人	24.4%
江北保健センター	127,288人	18.4%	155,116人	22.4%
千住保健センター	88,140人	12.7%	88,140人	12.7%
東部保健センター	134,452人	19.4%	134,452人	19.4%

4 変更日

令和6年度秋頃に「すこやかプラザ あだち」内に開設する江北保健センターの移転日から。

※ 「すこやかプラザ あだち」については、「健康」をテーマに、江北保健センター、休日応急診療所、医療・介護情報・研修センター及び子育てサロンの機能を備えた江北エリアデザイン計画を推進する区の新たな拠点として、建築工事が現在進められている。

5 問題点・今後の方針

- (1) 区広報、区ホームページやSNS、チラシ等により周知を徹底する。
- (2) 町会・自治会連合会、地域保健福祉推進協議会、保健医療協議会などにおいて説明、報告していく。
- (3) 令和6年4月1日発行のあだち子育てガイドブック等に反映する。

厚生委員会報告資料

令和5年6月29日

件名	令和4年度「動物愛護相談支援窓口」事業の実施結果及び「足立区地域猫活動協力員」の登録・更新状況について																																																					
所管部課名	衛生部足立保健所生活衛生課																																																					
内容	<p>区民生活に影響のある動物に関する相談・苦情に対処していくため、令和4年度に「動物愛護相談支援窓口」「地域猫活動協力員」という2つの事業を開始した。今回、これら2つの事業の実施結果及び登録・更新状況について報告する。</p> <p>1 苦情相談受付・実態調査等の件数</p> <table border="1" data-bbox="405 797 1441 1167"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th colspan="2">総数</th> <th colspan="2">犬</th> <th colspan="2">猫</th> <th colspan="2">その他の動物</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">対応</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> </tr> <tr> <th>実態調査</th> <th></th> <th>実態調査</th> <th></th> <th>実態調査</th> <th></th> <th>実態調査</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,025</td> <td>354</td> <td>203</td> <td>93</td> <td>403</td> <td>170</td> <td>419</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>919</td> <td>375</td> <td>221</td> <td>122</td> <td>361</td> <td>183</td> <td>337</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1,125</td> <td>343</td> <td>317</td> <td>127</td> <td>431</td> <td>153</td> <td>377</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>「実態調査」は、苦情対象者宅への訪問や苦情対象現場の状況確認を要する場合に行っている。</p> <p>【例1】 散歩時の犬のフンを飼い主が持ち帰るよう一般的に普及啓発するための飼育マナープレートを電話相談者に交付等するだけでなく、リードを放して散歩させていて、フンの後片付けもしていないような特定の飼い主へ直接的な指導・注意が必要となる場合</p> <p>【例2】 飼い主のいない猫が勝手に庭に入らない方法等をいくつか紹介するだけでなく、不妊去勢手術を行わず、他人の敷地や公園等にエサ・フンを放置しているような無責任な餌やり者に対して直接的な指導・注意を要する場合</p> <p>2 「動物愛護相談支援窓口」の事業実施概要 飼い主のいる犬・猫及び飼い主のいない猫の一時保護、譲渡先探しなどの支援事業をNPO法人に業務委託して実施した。 (1) 受託事業者（NPO法人） 令和5年4月から、保護猫カフェ運営の実績があるNPO法人と新たに契約締結し、2法人から3法人に拡大した。</p>	種類	総数		犬		猫		その他の動物		対応	苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数		実態調査		実態調査		実態調査		実態調査		令和2年度	1,025	354	203	93	403	170	419	91	3年度	919	375	221	122	361	183	337	70	4年度	1,125	343	317	127	431	153	377	63
種類	総数		犬		猫		その他の動物																																															
対応	苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数																																															
	実態調査		実態調査		実態調査		実態調査																																															
令和2年度	1,025	354	203	93	403	170	419	91																																														
3年度	919	375	221	122	361	183	337	70																																														
4年度	1,125	343	317	127	431	153	377	63																																														

令和4年度からの 継続事業者	NPO法人あだち動物共生ネットワーク ----- NPO法人けだ・まも
令和5年度からの 新規参入事業者	NPO法人 Human Animal Pairs (ヒューマン アニマル ペアーズ)

(2) 動物を遺棄等させないための相談支援窓口の取り組み

相談支援窓口支援実績件数 (NPO法人委託事業) 合計: 65件

ア 飼育相談 5件

* ペットの飼育や飼い主のいない猫を飼いたいという相談

イ 譲渡相談 2件

* 飼い主が高齢、病気等の理由により、飼い続けることが困難となったペットを譲渡したいという飼い主本人や親族からの相談、譲渡先紹介等

ウ 飼い猫の一時保護 10匹 (うち2匹、譲渡実現)

* 飼い主が高齢、病気等の理由により、飼い続けることが困難となったペットの譲渡先を探す間の一時保護

エ 飼い主のいない猫の一時保護 48匹 (うち31匹、譲渡実現)

* 譲渡先を探す間の一時保護

(3) 飼い主のいない猫を出産させないための相談支援窓口の取り組み

飼い主のいない猫の不妊去勢手術実施件数 731匹

(内訳)

ア 地域猫活動協力員を対象に、委託事業により無料で実施

139匹

イ 地域猫活動協力員以外の区民を対象に、一部費用助成により実施

592匹 (前年度: 885匹)

	飼い主のいない猫	飼い猫
オス・去勢手術助成額	4,000円	2,000円
メス・不妊手術助成額	6,000円	4,000円

* 参考: 飼い猫の不妊去勢手術 943匹 (前年度: 837匹)

3 「足立区地域猫活動協力員」の登録・更新状況

「地域猫活動」とは、飼い主のいない猫を「増やさない」ための不妊去勢手術をはじめ、居住地周辺の地域を「汚させない」ために猫のエサ・フンを放置しないこと、地域に猫を「捨てさせない」ための見守り等の活動である。

「足立区地域猫活動協力員」は、それらの活動を実践していただく区民

ボランティア（無償）であり、年度単位で登録期間の更新を行い、所要の研修受講を登録更新要件としている。

(1) 地域猫活動協力員登録者数（令和5年4月1日現在）

43名（うち4名は令和5年3月期の新規登録者）

(2) 地域猫活動協力員登録更新時研修会

ア 実施時期

令和5年3月

イ 研修内容

① 地域猫活動協力員による相互の活動状況報告

② 「足立区猫の適正飼育ガイドライン」等の研修資料概要説明

ウ 研修方法

① 対面での集団講習を3回に分けて実施（参加者合計：19名）

② 研修会欠席者向けに書面研修を実施（受講者合計：20名）

③ 3月期の新規登録時に更新時説明・研修を同時実施（4名）

4 問題点・今後の方針

動物愛護衛生事業や地域猫活動協力員登録等の以下の取り組みを総合的に強化することにより、人と動物がストレスなく地域で共生できる環境をつくっていく。

(1) 「動物愛護相談支援窓口」事業では、受託事業者であるNPO法人と連携・協働し、住民に身近な動物相談窓口の支援を引き続き充実させていく。

(2) 飼い主のいない猫対策では、地域猫活動の担い手を増やしていくことが問題解決への一歩となるため、「地域猫活動協力員」登録制度の周知・募集などをあだち広報やSNS等を通じて強力で発信していく。